



院外版

令和2年ご挨拶

院長 柿木滋夫



本日、令和になって初めての入職となる41名の職員を迎えました。皆さんおめでとうございます。今年は27名の看護師も仲間に加わり大変うれしく、かつ頼もしく思っております。令和二年になり新型コロナウイルス感染症の影響で、歓迎式、オリエンテーションなども十分な形で開催できませんでしたが、今日から皆さんは北海道社会事業協会小樽病院の一員となります。社会人としての自覚をもって働いていただきたいと思います。早く当院に慣れるためには「挨拶」と「仲間から信頼を得る」ことが大切です。初心を忘れず日々努力を重ねて

いていただきたいと思います

さて、北海道社会事業協会は、大正11年（1922年）に北海道庁内に設立され、小樽病院は、大正15年（1926年）に小樽慈恵病院の経営を引き継ぐ形で創立されました。令和8年（2026年）には創立100周年を迎えることとなります。北海道社会事業協会の中では一番古く、由緒のある病院であります。小樽協会病院の理念は、「患者様に寄り添い良質で心のかよった優しい医療を目指します」です。また、今年度の基本方針として、①地域医療と最適な医療サービスの提供 ②人材の確保と育成 ③地域包括ケアシステムにおける役割の明確化 ④社会福祉法人として使命の追求 ⑤経営の健全化を掲げました。住民の皆様が、住み慣れた町で安心して過ごせるように小樽後志医療圏において完結する医療をめざし、当院がその一翼を担えればと思っております。現在の医療の現場では、感染対策、安全対策が大切です。病院は様々な病気、悩みを抱えた患者さんがいますので、思い込みや確認不足は禁忌です。上司、同僚と連絡を密にして仕事にあたってほしいと思います。

厳しい寒さのあとに、春が訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、1人1人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる人になっていただきたいというのが“令和”に込められたメッセージです。皆さんもそのようにこれからの人生を歩んでほしいと思います。

最後になりますが、これからも地域の人々に愛され信頼される小樽協会病院として、患者様に寄り添いながら2026年に向けて変革を遂げ、成長していきます。そのためには新入職者をはじめ職員全員が心身ともに健康でなければいけません。今年一年よろしく願いいたします。

4月より着任しました医師の紹介



産婦人科医長
今 沙織 (こん さおり)
函館市
岩手医科大学
患者さんの心を配慮した医療を目指
しますよろしくお願い致します



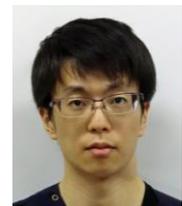
臨床研修医
木村 美月 (きむら みづき)
札幌市
北海道大学
自分にできることを着実に増やせるように
日々努力していきたいと思ひます。どうぞよ
ろしくお願いします



小児科医師
浜田 亮 (はまだ りょう)
札幌市
札幌医科大学
よろしくお願い致します



臨床研修医
神川 聖羅 (かみかわ せいら)
札幌市
札幌医科大学
一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお
願いします



呼吸器内科医師
有里 仁希 (ありざと ひとき)
網走市
北海道大学
地域の医療に貢献できるよう頑張り
ます



臨床研修医
古俣 皓涼 (こまた こうすけ)
小樽市
札幌医科大学
故郷である小樽で研修をすることが出来、嬉
しく思ひます。よろしくお願い致します



健診科医師
横山 康弘 (よこやま やすひろ)
北海道芽室町
旭川医大
どうぞ宜しくお願ひ致します



臨床研修医
小谷松 紗弓 (おやまつ さゆみ)
江別市
札幌医科大学
精一杯がんばります。どうぞよろしくお願ひ
します。

1.所属 2.名前 3.出身地 4.出身校 5.一言



当院のコロナウイルス対策報告

当院でも新型コロナウイルスのために様々な対策を行っています。問診ブースや会計カウンタは飛沫感染を防ぐ為にビニールシートで覆い対応しています。また、患者様待合椅子も一部使用禁止にしてソーシャルディスタンスを守れるようにしています。また、感染疑いの患者様は、簡易陰圧テント内で診察、待機をしています。

少しでも安全に
医療提供が出来
るように今後も
感染予防に努め
ます。



編集後記

新型コロナウイルスのため、どこの医療機関も大変なご苦労をされていると思ひます。いつか終息する事を信じ、お体に気をつけてこの大変な事態を一緒に乗り越えましょう。(渡辺)

小樽協会病院広報誌“つゆくさ” NO.60

発行：小樽協会病院広報委員会
発行日：令和2年5月
発行人：柿木 滋夫
編集委員長：渡辺 直輝